

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階,
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

〒郵便振替口座中
00150-4-15754
銀行口座中
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

八月十八日は東京ビッグサイトへ

国際フォーラムに参加を

来る八月十八日(日)は国際フォーラム「骨髄バンクのネットワーク化」を開催します。全国協議会では実行委員会を作り、その準備を進めています。

当日は四方言語の同時通訳(日・英・中・韓)で行います。またドリンクサービスもあります。もちろん入場は無料です。

愛(骨髄)は国境を越える時代がやって来ます。そのためには何が必要なのかを、多くの参加者と共に考えたいと思います。

国際フォーラム 「骨髄バンクのネットワーク化」

- 1996年8月18日(日) 13:30~16:30
- 東京国際展示場(ビッグサイト) 会議棟6階
- 〈第1部〉各国骨髄バンクの現状と国際協力
- 〈第2部〉骨髄バンクのネットワーク化
- ☆パネリスト/ブルース・カッセルトン(米)
- 林碧玉(台湾)
- 全用植(韓国)
- 幸道秀樹(都立府中病院)
- 陽田秀夫(全国協議会)
- ☆総司会/刀根麻理子

来年度予算に関して厚生省に要望書

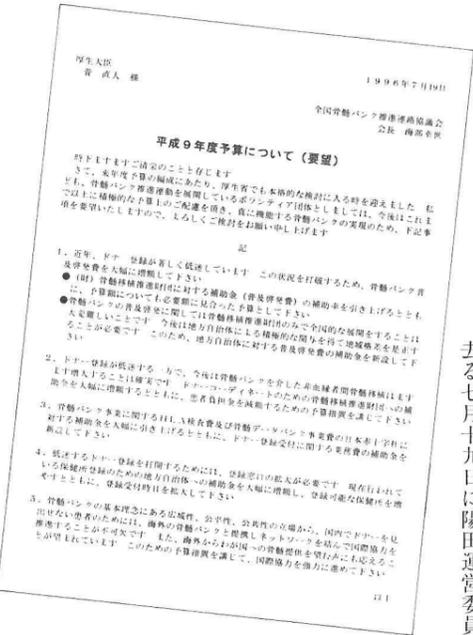
医療体制の拡充整備についても

平成9年度の予算編成の時期を迎え、全国協議会は骨髄バンク関連予算の大幅な増額を求め、去る七月十九日に陽田運営委員長

長が厚生省を訪れ、要望書(別掲)を提出しました。

この要望書では従来からの財団財団への補助金(普及啓発・コーディネート)の増額、日赤への補助金(HLA検査)の増額と共に日赤へのドナー登録業務費の新設を求めています。また、都道府県への普及啓発予算と国際協力を推進するための予算措置を新たに講じることを求めています。

さらに同日は「骨髄移植医療体制の拡充と整備について」の要望書も厚生大臣あてに提出しました。



「白血病フリーダイヤル」 始まる

予てより開設準備をすすめていた「白血病フリーダイヤル」が七月十三日(土)から開始されました。この日は、我が国で初の白血病患者の電話相談窓口の開設を、新聞・テレビ・ラジオ等マスコミがあらかじめ報道してくれたこともあって、午前十時のオープンと同時に「0120-892-106(バンクニトウロク)」の電話は鳴りっぱなしとなり、受付当番者三名と東大医科研から協力派遣された専門医師の先生一名が午後四時の終了時刻まで、フル回転で対応に当たり、一日で四十一件の相談を受けました。

相談者の内訳は、患者本人が十一件(26.8%)、親が十三件



フル回転で対応する相談員

(31.7%)、配偶者(妻が大部分)九件(22.0%)、子供その他八件(19.5%)です。

地域別にみると、関東が二十四件で最も多く、次いで関西八件、中部四件、東北・九州各二件、中国地方一件でした。

相談内容は、治療方法とそれに関連した治療の確率に関するものが最も多く十七件、次いで病状の行方についてが十一件、告げられている病名の内容についてが九件、医療機関の紹介希望、ドナーが見つからないことへの不安の訴え、治療費に対する質問・不安の訴えが各一件(この項は複数集計)となっています。

一件当たりの相談の時間は二十〜四十分におよび、相談者がなかなか電話を切らないため困ることがあるほど熱心な相談が続ききました。

今後の相談電話の入り方と相談の身の推移を見て、患者相談のあり方や受付体制を見直し、充実させていきたいと考えています。(新田)

第52回 運営委員会報告

◆運営委員の役割分担について
(委員長：◎、副委員長：○)

1. 総務委員会

- 事務局長 三田村 真(東京)
- 事務局次長 山本 順子(千葉)
- 会計担当 木村 紀(千葉)
- 事務局員 村上美智子(東京)
- 事務局員 遠藤 允(神奈川)
- 事務局員 福崎 豊一(東京)

2. 編集委員会

- ◎笠原 慶一(埼玉)
- 野村 正満(東京)
- 遠藤 允(神奈川)
- 木村 紀(千葉)
- 山本 順子(千葉)

3. 企画委員会

- ◎渡辺 孝一(神奈川)
- 高綱 忠志(愛知)
- 関根 政雄(福島)
- 大角 昌巳(静岡)

4. 渉外委員会

- ◎山村 昭一郎(関西)
- 向原 祥隆(九州)
- 大谷 貴子(愛知)
- 木村 紀(千葉)
- 山本 順子(千葉)

5. 国際化検討委員会

- ◎三好 逸二(関西)
- 野村 正満(東京)
- 遠藤 允(神奈川)

骨髄バンクNOW

★保険料改定

かねてより協議を進めてきた骨髄バンク団体保険の保険料改定が承認され、本年7月1日から適用されることとなりました。

★電話受付時間拡大

6月1日より3ヵ月間、平日時間外(17:30~21:00)と土日祭日(9:00~21:00)のドナー登録希望者の電話受付時間が拡大されました。

[検査済ドナー登録者]	73,183人
[患者登録者]	4,168人
[移植件数]	800件

(6月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

白血病フリーダイヤル

バンクに トウロク
0120-892-106

毎週土曜日10時~16時

副会長・ 運営委員長の 動き

◆大谷副会長の講演活動

- 6月25日 大阪府泉大津市：国際ソロプチミスト大阪いずみ
- 27日 三重県上野市：上野青年会議所
- 28日 神奈川県平塚市：神奈川県立高等学校PTA
- 29日 福島県相馬市：相馬青年会議所
- 30日 愛知県岡崎市：光ヶ丘女子高等学校同窓生
- 7月1日 岐阜県大垣市：大垣市教育委員会
- 2日 新潟県柏崎市：柏崎市
- 6日 奈良県北葛城郡：奈良骨髄献血の和を広げる会
- 7日 三重県津市：三重大学病院小児科
- 8日 愛知県名古屋市：名古屋市民生委員連盟千種区支部
- 14日 千葉県野田市：千葉骨髄バンク推進連絡会
- 18日 岩手県北上市：岩手県骨髄バンク推進シンポジウム実行委員会
- 19日 岩手県江刺市：岩手県骨髄バンク推進シンポジウム実行委員会
- 22日 愛知県岡崎市：岡崎市PTA連絡協議会(岡崎市教育委員会社会教育課)

◆陽田運営委員長の動き

- 7月13日 大谷副会長、副運営委員長4名、事務局長、ボランティア他4名が財団野田事務局長と面談。
- 19日 厚生省へ要望書(平成9年度予算について・骨髄移植医療体制の拡充と整備について)提出。野村副運営委員長が同行。

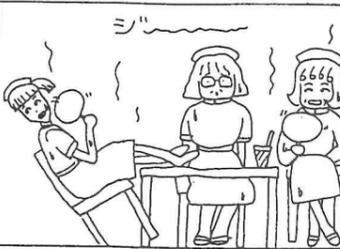
◆ボランティアセミナー開催について
昨年は4ブロックで開催したが交通費負担を少なくする意味からも今年は6ブロック別とする。各ブロック運営委員の中で

担当者(氏名)を選任。今後幹事団体と話を進めていく。
●北海道ブロック(富山)：北海道・苫小牧・釧路
●東北ブロック(陽田)：青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
●関東ブロック(星野)：東京・友の会・千葉・茨城・埼玉・神奈川
●甲信越・北陸ブロック(小林)：新潟・長野・群馬・石川・富山
●東海・関西ブロック(高綱)：静岡・愛知・三重・岐阜・関西
●四国・九州ブロック(北村)：愛媛・高知・九州

◆ドカベンテレカ作成

新潟育で会の提案で水島新司氏の原画によるドカベンのテレフォンカードを作成すること決定。担当新潟。

Dr.サイコロ (暑い日)



心からのご寄付をありがとうございました

6月21日～7月20日まで

星出あさか	切手	4,427
楠ティ・エイ代表取締役石橋勇	現金	20,000
稲次康三	現金	1,000
山崎久江	現金	5,000
上法和博	現金	100,000
松井ちさと	切手	1,485
阿原一良	現金	10,000
中野義樹	現金	3,000
備前辺材木店	現金	15,140
小野寺勇一郎	現金	2,000
古市充雄	切手	2,430
匿名	現金	20,000
今野和男	切手	450

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座

さくら銀行 新宿支店

普通 5666655

郵便振替口座

00150-4-15754

全国骨髄バンク推進連絡協議会

ハローキティのポケットティッシュ 増刷完成

昨年十二月にサンリオの協力により作成したハローキティのポケットティッシュは好評につき、各加盟団体からの強い要請で追加制作を行ない、7月下旬に各団体へ配布を行ないました。(200個まで無料)

今回は各地五団体が独自の名入れを行ないたい旨の申し出があり、制作総数は十六万個にのぼりました。



富山 ジグザグ骨髄バンク

去る六月八日、小矢部市にて「ジグザグ骨髄バンク」それぞれの立場から見た骨髄バンク」を開催しました。タイトルを「ジグザグ骨髄バンク」としたのは、県内でのドナー登録が低迷するなか、試行錯誤を繰り返しながら、右へ左へと寄り道しながらたどり着きたいという気持ちを込めたからです。当日は、医師・看護師・ドナー・患者家族、それぞれの立場から見た「骨髄バンク」を語っていただき、実りあるシンポジウムになったのではないかと思います。

長野 文化祭でPR

寺の町・仏壇の町そしてスキ一の町として長野県の北部に位置する飯山市。その南部にある飯山南高校の文化祭において、骨髄提供者のビデオ上映、そして「つばさの会」の活動報告・骨髄バンクについての説明をし、又生徒さんに分かりやすく骨髄移植について長野支部から丸山富士代・小林延子が講演をしました。

関西 近畿地区意見交換会

ボランテア団体が主催する関西では初めての意見交換会が、六月一八日おさか赤十字血液センターで開催されました。日ごろ顔を合わせて話し合う機会が少ない厚生省、財団、行政、データーセンター、ボランテア団体、一般の人が、東京、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫、福井各県から九二名も一同に集まり、四時間にわたる、活発な、熱意溢れる意見交換を行いました。最近のドナー登

宮城 仙台支部誕生!

ついに、仙台支部発足! 本紙六月号に、仙台地区ボランテアが初めて自主的に実施したKHBフリーマーケットへのバザー出店とキャンペーン活動についてご紹介しましたが、六月二九日にととう(何とか?) 宮城骨髄バンク登録推進協議会仙台支部が発足いたしました。

宮城 仙台支部発足!

発足式には、一般の市民を含め多くの方にご参加いただき、また、マスコミ各社の取材もあり、盛大にとり行なうことができた。

宮城 仙台支部発足!

追伸 仙台支部発足にあわせて、宮城骨髄バンク登録推進協議会のトレードマークを作りました(ボランテアのデザイン)。それを見せようとして一般にも販売しようと目論んでいました。ご希望の方は、協議会事務局(〇二二二二二一八三八一)まで一報ください。

hide(X-Japan) が骨髄バンク チャリティーツアー

人気ロックグループX-Japanのhide(ヒデ)が、今年九月から十月にかけて別表のとおり二十日間の全国縦断コンサートツアー公演を行ないます。この公演はhideさんご本人の申し出により「骨髄バンクチャリティー・キャンペーン」とすることになりました。hideさん自ら、ステージで熱狂的ファンに募金の呼び掛けを行なうことになりました。このキャ

ンペーンのバックアップは(財)ライオンズ日本財団が行なうことになっていきます。この公演によるチャリティーの益金は骨髄推進財団と全国骨髄バンク推進連絡協議会に寄付されることになっていきます。

公演当日には、当然のこととして来場者に骨髄バンクへの理解を求める普及啓発活動を展開していきたくと考えています。つきましては、公演開催地を含む近隣の加盟団体の皆様には活動への参加をお願いします。



録の横這い傾向の打開がテーマです。行政からは、人口換算登録第一位の京都府が、大変な努力をしてこられた経過を報告していただき、行政の協力の重要性をあらためて再認識しました。皆さんの提言をここで紹介できないことが残念です。官民間関係者が定期的に集まって意見交換の場をもち、知恵を出しあうことが、局面打開の最大の方法であるとの提言に参加者全員共感しました。全国にこのような意見交換会の広まることを期待します。



たものの、これまで自主的に活動してきた実績はほとんどなく、これからのような運動を進めていくか、みんな考えていかなければならないと思っています。各地の団体とも連携を取りながら、骨髄バンクへの理解が深まるような、草の根的な運動をしていきたいと考えています。生まれたての仙台支部に、どうか支援のほど、よろしくお願ひいたします。

フジテレビを見よう

見よう見ぬふじは やめましょう

フジテレビ